



学校通信 赤坂小だより

令和7年度 第12号 R7.8.26

北九州市立赤坂小学校

校長 大成 清徳

前期後半スタート!!

輝かせよう！夏に見つけた「新しい自分」

◎38日間の夏休みが終わり、今日から学校生活が始まりました。例年になく早くて梅雨が明けた後、連日35度前後の真夏日が続く、熱中症に注意しながら過ごさなければならなかった日々でした。加えて、カムチャッカ半島を震源とする地震による津波発生への警報が出されるなど、改めて地震への備えと非常時の避難経路の確認の必要性を痛感させられました。

今日は、残暑厳しい中、児童のみなさんが元気に登校してくる姿を見て、ホッと胸をなでおろしました。この夏休みに、「新しい自分」を発見するためのチャレンジを呼びかけていましたが、それぞれに見つけた自分の可能性を、大いに輝かせてくれるものと期待しています。

自分を輝かせるために…試してみては？

◎前期後半は、約1カ月半という短い期間です。その中でも、社会見学などの校外学習や、委員会活動、縦割り活動、家庭学習チャレンジ週間など、様々な取組が計画されています。子どもたちには、自らを高めるために、次のようなことにトライしてみてはどうかと提案しました。もちろん、自分なりに決めたことで構いません。自分への挑戦を続けてみてはいかがでしょう？

読む ウォルトディズニーは「宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。そして何よりも、宝を毎日味わうことが出来るのだ。」と言っています。読書の秋です。よい本と出会い、世界を広げてみませんか？

続ける 昨年度に引き続き、今年度も前期、後期に家庭学習チャレンジ週間を設定し、家庭学習マイスター賞の表彰を行います。興味関心のあることを追求したもの、様々な工夫をしたもの等、毎日の継続した取組が力になります。

関わる 話合いで他の人と進んで意見交換をする、係活動を自主的にやってみる、縦割り活動で他学年と積極的に話をするなど、自分からコミュニケーションを図ることで、自分の考えを深めたり、広めたりしてみましょう。

これらの作品は八幡東区の平野市民センターで8月30日まで開かれている『八幡大空襲展示会』（同センターと八幡大空襲の証言を集めている市民団体「平野塾」主催）で、空襲後の旧八幡市街の写真等とともに展示されています。

◆平和な世界を築くために：大切にしたいこと

○戦後80年目の夏を迎えた今年、戦争を経験していない戦後生まれの割合は、日本の総人口の約9割に達し、戦争の記憶や教訓をどのように受け継いでいくかということが大きな課題となっています。

去る6月、八幡大空襲について自らの体験を語る活動が続いている杉野慧子さんが、母校の県立八幡中央高校芸術コース3年生にお話をされ、その体験を聞いた書道専攻の3年生11人が、その光景を『書』で表現しました。炎が迫る中を命からがら逃げた体験からイメージを膨らませた「猛火」や、「闇」、「絶対に生きる」など、墨の濃淡や文字の配置で表現した文字を見て、杉野さんは「見事な表現。これだけ高校生が私の心を隙間なく読んでくれるとは」と圧倒されたそうです。戦争を知らない世代が戦争の悲惨さを語り継ぐ一つの在り方だと感じました。今日の全校放送では、広島市の平和記念式典で読まれた「平和の誓い」を紹介しました。戦争のない平和な未来が続くことを願って、全文を掲載します。

平和への誓い

いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。同じ過ちを繰り返さないために、多くの人が事実を知る必要があります。原子爆弾が投下されたあの日のことを、思い浮かべたことはありますか。

昭和20年(1945年)8月6日午前8時15分。この広島に人類初の原子爆弾が投下され、一瞬にして当たり前の日常が消えました。

誰なのか分からないくらい皮膚がただれた人々。涙とともに止まらない、絶望の声。

一発の原子爆弾は、多くの命を奪い、人々の人生を変えたのです。

被爆から80年が経つ今、

本当は辛くて、思い出したくない記憶を伝えてくださる被爆者の方々から、直接話を聞く機会は少なくなっています。

どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。

世界では、今もどこかで戦争が起きています。大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。

その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。多様性を認め、相手のことを理解しようとする。こと。

一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずです。

周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。

One voice.

たとえ一つの声でも、学んだ事実思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはず。です。

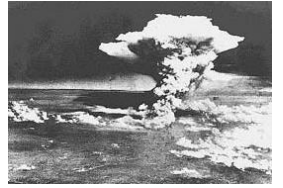
大人だけでなく、こどもである私たちも平和のために行動することができます。

あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないために、

私たちが、被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。

令和7年(2025年)8月6日

こども代表 広島市立皆実小学校6年 関口 千恵璃・広島市立祇園小学校6年 佐々木 駿



○人間には、もともと他者の痛みを自分のことのように感じる能力が備わっていると言われます。お互いの違いを認め合い、相手の立場で物事を考えることは、戦争を回避し、平和を実現するために必要不可欠です。最近では、世界の中で、外国人など他者を排斥する風潮が見られます。広島の6年生が訴えるように、多様性を認め、相手を理解しようとする姿勢こそ、平和な世界を築くために大切にしていかなければならないと思います。

○立秋を過ぎたとはいえ、まだまだ暑い日が続いています。学校では、引き続き熱中症を防ぐための対応を行っています。熱中症の予防には、適切な睡眠と栄養、適宜水分を補給することが必要です。ご家庭でも「早寝早起き朝ご飯」の習慣づけをしていただくとともに、登校時には水筒に十分お茶や水を入れていただき、帽子をかぶるように声掛けをよろしくお願いします。

《8・9月の主な予定》

8月

26日(火) 前期後半開始日 ※11:35 頃下校予定
27日(水) 給食開始日 ※14:25 頃下校予定
28日(木) 5時間授業 ※14:55 頃下校予定
29日(金) 職員研修日・給食後下校 ※13:30 頃下校予定

9月

9月1日(月) シェイクアウト訓練
4日(木) 委員会活動
5日(金) 【3年】社会見学
(子ども図書館⇒高塔山⇒シャボン玉石けん工場)
11日(木) クラブ活動
12日(金) 職員研修のため、給食後下校 ※13:30 下校予定
15日(月) 敬老の日
22日(月) 【5年】社会見学(エコタウン⇒安川電機)
23日(火) 秋分の日
24日(水) ~26日(金) 家庭学習チャレンジ週間・・・5校時後、下校
29日(月) 30日(火) 個人懇談会 ※13:30 下校予定